

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

農林水産課

| | |
|----------|---|
| 件名 | 【内容の一部変更】 トウルーバファーム佐賀株式会社と鹿島市との進出協定締結式について |
| アピールポイント | 【進出協定式の内容の一部変更】 トウルーバファーム佐賀株式会社と鹿島市との進出協定締結式について、先日お知らせしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小し、リモートで執り行うことを決定しましたので、お知らせします。 |
| 説明 | 【トウルーバファーム佐賀株式会社と鹿島市の進出協定締結式】 ○日時：令和3年5月24日（月） 14:00～ ○場所：鹿島新世紀センター2階会議室 → 鹿島市庁舎3階庁議室 ※新型コロナウイルス感染症の防止のために、リモートで実施します。 ※来賓等の出席はありません。 ※報道機関へは公開いたします。 ○式次第 ・協定書署名 ・市長あいさつ、代表取締役あいさつ ・代表取締役による七開地区における放牧事業の説明 ○進出企業・事業内容等 トウルーバファーム佐賀株式会社 代表取締役 小野 隆一 氏 |
| 別添資料 | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし |

本件に関する問合せ先

| | |
|------|--|
| 所属 | 産業部農林水産課 |
| 氏名 | 課長補佐 堀 正和 |
| TEL | 0954-63-3413 |
| FAX | 0954-63-2313 |
| Mail | norin@city.saga-kashima.lg.jp |

トゥルーバファーム佐賀株式会社と鹿島市の進出協定締結式

開催日時：令和3年5月24日（月）14時／場所：鹿島市庁舎3階庁議室

[進出企業の情報]

- ・ 社名 トゥルーバファーム佐賀株式会社（代表取締役 小野 隆一 氏）
- ・ 本社 唐津市浜玉町平原甲441-21
- ・ 事業内容 園芸と畜産の複合経営（レモン約1.5ha、肉用牛放牧約19ha）
- ・ 資本金 3百万円
- ・ 設立 平成30年9月19日
- ・ 常時雇用 園芸事業（唐津市）2名、放牧事業（鹿島市）3名予定

[鹿島市での事業計画]

当面の事業展開

- ・ 事業箇所 七開地区内の約19haの荒廃園を含む農地等（地図裏面）
- ・ 事業内容 肉用牛の放牧繁殖事業（周年放牧）
- ・ 飼養頭数 45頭
- ・ 施設概要 簡易牛舎、スタンション、電気牧柵ほか
- ・ 事業開始時期 令和3年8月（予定）

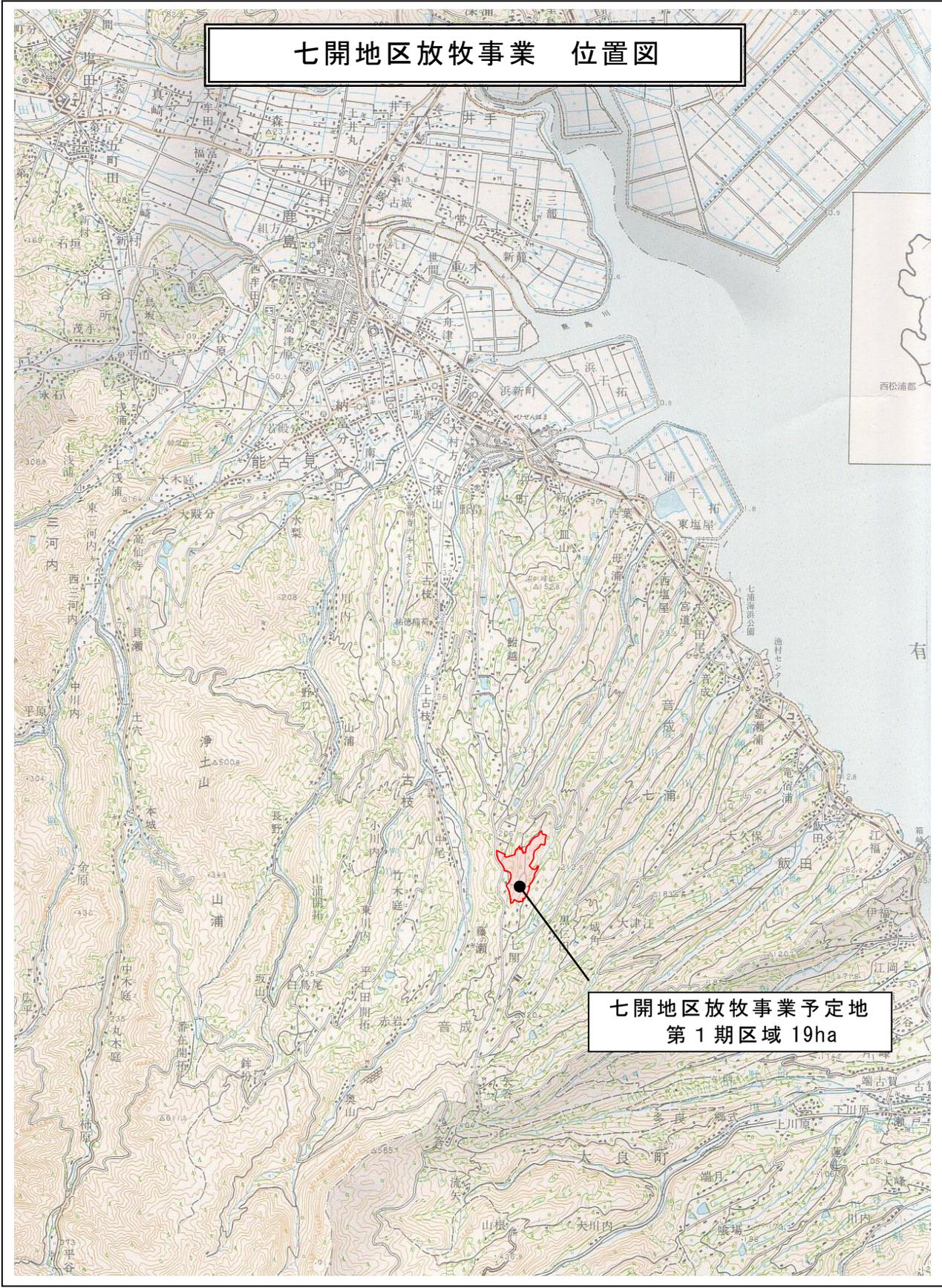
将来の事業展開

放牧繁殖事業の確立後には、高付加価値畜産物（赤身肉）を生産するために、放牧繁殖肥育一貫経営を目指す。

[企業進出に至る経緯]

- ・ 鹿島市は、平成25年度から九州大学と、平成29年度からは鹿児島大学（後藤貴文教授）とIT技術（自動給餌機等）を活用した周年放牧システム等の共同実証研究を実施
- ・ トゥルーバグループは、平成30年4月に大分県豊後高田市において、周年放牧による肉用牛繁殖事業を行うトゥルーバファーム大分株式会社を設立。
- ・ 鹿島市においては、増え続ける耕作放棄地対策のために企業等の誘致を模索する中、平成31年2月、鹿児島大学後藤教授が鹿島市とトゥルーバグループとをマッチング。耕作放棄地を活用した大規模な放牧事業の検討を開始
- ・ その後、地元七開区や地権者等への説明会を重ね、現在、所有権移転等の手続きを進めている。
- ・ 将来的には、グループ企業で培ったノウハウに加え、鹿島市と鹿児島大学との共同研究の成果である自動給餌システムの導入など、スマート農業によるコスト削減も視野に入れており、企業としての真価創造のための新たな挑戦にも意欲的である。

七開地区放牧事業 位置図



七開地区放牧事業予定地
第1期区域 19ha